

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領によるCHUO開所式への出席
- 大統領選挙：CENAPによる候補者認定

【外政】

- ボンゴ大統領によるメッカ訪問
- ボンゴ大統領による第27回AU総会への出席
- 赤道ギニア大統領によるフランスビル訪問

【経済】

- ガボンによるOPEC再加盟
- ボンゴ大統領による中部アフリカ地域証券取引所トレーディングルーム開所式への出席
- 中部アフリカ・EU経済連携協定
- CAPAL水揚げ促進キャンペーン終了式の開催

【内政】

1 ボンゴ大統領によるCHUO開所式への出席

8日、アリ・ボンゴ大統領は、オウエンド大学病院センター（CHUO）の開所式に出席した。同センターは15,000平方メートルの敷地面積、120床の病床を有し、533名の職員が勤務し、最先端技術による診療・手術・リハビリが可能となる。（9日付UN）

2 ボンゴ大統領による大統領選挙候補届出

9日、アリ・ボンゴ大統領は、数万人のガボン人に付き添われながら独立常設選挙委員会（CENAP）に対して候補者届出に係る書類を提出した。（11日付UN）

3 ボンゴ大統領による選挙前キャンペーンの開始

12日から、アリ・ボンゴ大統領は、ニャンガ州をはじめ各州を訪問し、選挙前キャンペーン活動を開始した。（13日付UN）

4 大統領選挙：CENAPによる候補者認定

15日、CENAPは、アバ・ミンコ・ローラン・デジレ（無所属）、ボンゴ・オンディンバ・アリ（ガボン民主党（PDG））、エラ・ングマ・ジェラル（無所属）、マガンガ・ムサヴ・ピエール・クラヴェ（社会民主党（PSD））、ンバ・アボソレ・ポール（ガボンのための結集党（RPG））、ンボンベ・ンズドゥ・アベル（無所属）、ミンラマ・ミントゴ・デュードネ（無所属）、ムバンバ・ブルーノ・ベン（無所属）、ムサヴ・キング・オーギュスト（ガボン社会党（PSG））、ンドン・シマ（無所属）、ングラキア・レオン・ポール（無所属）、ンズバ・ンダマ・ギ（無所属）、オイエ・ンバ・カシミール・マリー・アンジュ（国民連合（UN））及びピン・ジャン（改革推進連合（UFC））の14名の候補者

を認定した。(13日付AFP, 16-17日付UN)

【外政】

1 ボンゴ大統領によるメッカ訪問

4日, アリ・ボンゴ大統領は, アブドゥルアズィーズ・サウジアラビア国王の招待を受けて, 断食明け大祭のためメッカを訪問した。(5日付UN)

2 ボンゴ大統領による第27回AU総会への出席

17-18日, アリ・ボンゴ大統領は, キガリにて開催された第27回AU総会に出席し, AUC委員長選挙, 安保理改革, 南スーダン情勢等について議論した。(19日付UN)

3 NDIによるフォーラム開催: 大統領選挙

18-19日, 米シンクタンク国立民主主義研究所(NDI)は, 民主的で透明性のある大統領選挙の実施に向け, フォーラムを開催した。(19日付UN)

4 赤道ギニア大統領によるフランスビル訪問

27日, アリ・ボンゴ大統領は, オートオグエ州フランスビルにて, シンゲマ赤道ギニア大統領と会談し, 二国間関係の強化のほか, 30日に赤道ギニアにて開催予定の中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)首脳会議について議論を行った。(28日付UN)

【経済】

1 中部アフリカ基幹回線網計画: 第1フェーズ評価

中部アフリカ基幹回線網計画(CAB4)の関係者は, 第1フェーズの進捗状況を確認した。第1フェーズでは, 2016年9月までに, 1,100キロメートルに亘る光ファイバー回線敷設が予定されているほか, 2017年のアフリカ・ネーションズ・カップ前に全地域での4G回線の導入が予定されている。(1日付GR)

2 木材加工に関する国際フォーラムの開催

13日, リーブルビルにおいて木材加工に関する国際フォーラムが開催され, コンゴ盆地周辺国から300名以上が出席した。ガボン政府は, 木材関連産業を経済成長の柱の一つとしており, 2020年までに熱帯木材のリーダー国になることを目標に掲げている。(1日付GR)

3 ガボンによるOPEC再加盟

1日, ガボンの石油輸出国機構(OPEC)再加盟が正式に決定された。(2日付GR)

4 伊Santulloグループによるタワー建設

伊Santulloグループは, 投資総額750億CFAフランをかけて, アパート, 事務所, 駐車場等を有するSantulloタワー2棟を建設しており, 9月に両タワーの開所式が予定されている。(5日付UN)

5 ボンゴ大統領による中部アフリカ地域証券取引所トレーディングルーム開所式への出席

5日, アリ・ボンゴ大統領は, 中部アフリカ地域証券取引所(BVMAC)のトレーディ

ングルールの開所式に出席した。同トレーディンググループは、中国 StarTimes 社による支援のもと機材が整備されており、国際基準に沿った証券取引が可能となる。(5日付GR, 7日付UN)

6 ガボン政府及びSEEG社によるコンセッション交渉

7日、ガボン政府とガボン電気・水道会社(SEEG)は、2017年6月のコンセッション期間満了を前に、新たなコンセッション締結に向けた交渉を開始することで合意した。(9日付UN)

7 マイクロ・ファイナンス : Régionale 第1支店の開設

カメルーン・マイクロファイナンス Régionale は、リーブルビルに初となる支店を開設し、貧困層に対して小口の融資や貯蓄などのサービスを提供する。(12日付GR)

8 中部アフリカ・EU経済連携協定

18日、第41回中部アフリカ・EU経済連携協定に係る交渉会合がリーブルビルにおいて開催され、22日の閣僚級交渉会合及び30日の臨時首脳会合に向け関係者間での調整が行われた。(19日付UN)

9 家庭用光ファイバー・インターネットサービスの開始

20日、ガボン・テレコムは、家庭用光ファイバー・インターネットサービスを開始した。(21日付UN)

10 CAPAL水揚げ促進キャンペーン終了式の開催

26日、リーブルビル零細漁業支援センター(CAPAL)において、ガボン水産・養殖庁主催による水揚げ促進キャンペーンの終了式が開催され、チャンゴ漁業・畜産大臣、佐藤駐ガボン日本国大使のほか、漁業関係者約50名が出席した。(28日付UN)

11 第2回デジタル経済に係る国際見本市の開催

27日、デジタル経済・郵政省は、第2回デジタル経済に係る国際見本市を開催し、eラーニング、e保険等デジタル経済に係る意見交換が行われた。(28日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス)